

実践者氏名	市川 紀雄 様	地 域	長野県佐久穂町
業種・業態	農業	生産品目等	水稲、プルーン、野菜
LOAの導入時期	2008. 8	LOA 導入内訳	アースパワー、グランドバイオ、G-EEEn

(報告者： 市川紀雄)

【LOA 導入前の問題・課題・状況】



- ・毎年、天候や病害虫に悩まされ、JAの指導に忠実に従い防除暦通りの殺菌・殺虫剤のローテーションの日々。その結果、お手盛りにも『美味しいプルーン』とは云えないものを市場に出してきた。ただ、儲けはあった。
- ・更には、農薬の多用により、自分の体は知らず知らず蝕まれて、気が付いた時は病院のハシゴ。今も呼吸困難に陥ることしばしばで薬は離せない。
- ・気が付くのが遅かったが、プルーンの生産を止めた。

【LOA 導入後の経緯・状況・結果】



- ・一度あきらめたプルーンのプロダクション。
冬期の剪定はもとより、定期的な防除は一度も散布しなかったのです。途中ですべて落下するだろうと想定していたが、風通しの良い上部は腐りもせず良く玉が伸び、下部は雑草で覆われたのにもかかわらず、半数ほど収穫することが出来ました。
- ・近くの農家の方も、「お前の所のプルーンは消毒もしていないのに、何で生えているのだ。」と、首をかき上げておりました。(無農薬です)
- ・昨年の秋収穫後、JAの「うまくだ有機」20kg入りの2袋と、LOA「アースパワー」20kg入りの1袋は施肥しておきました。ただそれだけです。私もびっくりです。

平成20年5月20日

- ・無農薬栽培が理想ですが、周りの環境の影響と人的手間の問題から一気に無農薬にすることは「収穫0」を意味します。一般の防除に比べますと農薬の使用量は1/4以下で済むようになりました。そして、食品安全機関(民間)に残留農薬の検査を依頼しました結果、108の項目に於いて全ての農薬成分が全く検出されていません。これも環境エネルギーを貴めたことによる恩恵と理解しております。

【考察・評価・今後の指標】

- ・環境エネルギーが高(貴)くなりますと、人間はじめ動植物などの生命体が健全な生命活動をし、健全な成長と、健全な種としての表現をします。プルーンは輝きを増し、十分な甘味(糖度)と酸味が程良く、御代りしたくなる美味しさが出てきます。
- ・生計(経営)のことを考えますと、一気に無農薬は危険です。但し、アースパワーや良質堆肥を使い続けて土づくりと植物の力を付けることと、管理(下草払いや剪定など)と農薬(殺虫、殺菌)を使うタイミングでは2~3年後に減農薬(1/2~1/3)に移行することが可能です。